

◆経済倶楽部講演会第4351回（11月20日）

米中貿易戦争の新たな展開と中国経済の展望 —グローバルサプライチェーンのあり方—

東京財団政策研究所主席研究員

柯

りゅう
隆

- * 習近平の演説用語にみる中国の今
- * 雇用悪化の原因は中小企業の不振
- * 内需主導型への着地は出来るのか
- * 今の米中関係は「囚人のジレンマ」状態
- * RCEPの合意成立をどう考えるか
- * サプライチェーンにおける中国の強み、弱み
- * これからサプライチェーンはどうなるか
- * 習近平の強国論の欠点は文化力の軽視
- * 今後も貧困問題の解決は不可能
- * 元紅衛兵世代の引退なくして社会の変化なし



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、2回目になります柯隆さんにおいて
いただきました。

1968年の南京のお生まれで、愛知大学と
名古屋大学で学ばれ、その後、日本で研究員生
活送っております。現在、東京財団に所属さ
れておられます。

無事にといかアメリカの大統領選挙が終わ
りまして、やはり日本人の注目は中国がどうな
るかということがございます。今日は米中関係、
それから中国経済の今後について、柯隆さんに
最新のお話をしていただけるということござ
います。

それでは柯隆さん、よろしく願いましたし
ます。（拍手）

習近平の演説用語にみる中国の今

柯 皆様こんにちは。ただいまご紹介いた
いた柯です。離れているのでマスクを外させて
いただきます。私は今ほとんど在宅勤務とい
う家におります。週に1回だけオフィスに顔を
出すときも自分の車で行って、夜はホスト
クラブに行っていないのでおそらく大丈夫だと
思うので、ご安心をお願い申し上げます。（笑）
去年の11月25日だったと思いますが、ここ
で1回報告をさせていただきました。あのとき
よつと失礼なことがあります、私は終わって
後すぐ東京財団に戻らなければいけなくなり
ました。というのは、東京財団のフォーラムで私
が報告をしなければいけない。本来ならば何人